



# ロゴセラピーと物語

フランクルが教える〈意味の人間学〉

勝田茅生「著」 ◆小B6判・200頁・定価1760円

## 人生は自分で創り上げるもの

フランクルの創始したロゴセラピーの中心メッセージを、民話や寓話を例にとりながら分かりやすく説き明かす。

著者はドイツで長年にわたりロゴセラピストとして活躍してきた実践家。様々な生きにくさを抱えるすべての現代人に贈る〈希望の書〉。

勝田茅生（かつた・かやお）  
1945年生まれ。上智大学文学部哲学科修士課程修了後、ミュンヘン大学博士課程入学。児童音楽教育指導の資格を取得。南ドイツ・ロゴセラピー研究所公認ロゴセラピスト資格を取得。2001年よりヨーロッパに滞在する日本人のためのカウンセリングを開始。同年4月より日本でロゴセラピー入門セミナーを開催して今日に至る。二人の息子の母親。



### 【目次より】

- 1 人生のどんな状況にも「ミッション」があります
  - 1 たとえどんな状況だとしても
  - 2 そこまでできる最善のことを見つければ……
  - 3 どんな時でも「人間としての尊厳」を忘れないければ
  - 4 どんな状況でも「ミッション」を実行できます
- 2 誰でも「意味あることをしたい」と思います
  - 1 「意味」とは何でしょう？
  - 2 「意味」はどうやって見つけるのでしょうか？
  - 3 間違った「意味」もある？
  - 4 「意味」はどうやって実現できる？
  - 5 「意味」を軸にして生きるといふのは？
- 3 誰でもどんな時でも自分で決断を下げます
  - 1 自由でないという思い込み
  - 2 鎖から解き放たれるためには
  - 3 ロゴセラピーの目標
- 4 人生は自分で創り上げるものです
  - 1 たとえどんなに苦しんでいても
  - 2 たとえ障がいや病気を抱けていても
  - 3 たとえ最期が近づいても
  - 4 天国の鍵

12月9日発売

● 10月刊行

# 反ナチ抵抗運動とモルトケ伯

クライザウ・サークルの軌跡

雨宮栄一著

◆四六判・定価 3850 円

「クライザウ・サークル」と呼ばれる反ナチ・グループの中心人物としてゲシュタポに逮捕され刑死した法律家モルトケ伯の評伝。彼が反ナチの思想と行動に至るプロセス、特にそのキリスト教信仰を丹念に追う。著者の遺作。



● 10月刊行

# 良き力に不思議に守られて

講演・説教・論考

宮田光雄著

◆小B 6判・定価 1540 円

単行本未収録の珠玉の説教5編のほか、民話によって神と出会う可能性を考察した「メルヘンの森で神と出会う」、神表現の極限を追求した美術家バーネット・ニューマンを巡る論考など7編を収録。



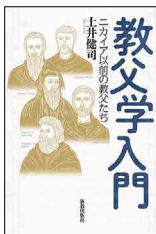
● 9月刊行

# 教父学入門 ニカイア以前の教父たち

土井健司著

◆四六判・定価 2420 円

使徒教父、弁証家、アレクサンドリアのクレメンスやオリゲネス、テルトゥリアヌスにキプリアヌス等、また古代文献に表れた女性たちも視野に収めながら、教父たちの世界へと興味深くいざなう類書のない門書。



● 9月刊行

# 呻きから始まる

祈りと行動に関する 24 の手紙

栗田隆子著

◆四六判・定価 2200 円

信仰、そしてフェミニズムと出会う自らの歩みを辿る。登校拒否とシスターとの出会い、洗礼と教会、進学と恋愛、研究への失望と就職の困難、運動と組織などの問題をめぐって読者にあてた手紙。



バーナード・W・アンダーソン著／高柳富夫訳

## 旧約聖書

一九五七年の初版以来五度に渡る改訂を重ね、今日も旧約入門・概説書として絶大な信頼を得ている名著。著者の流麗な筆致は、歴史的研究、考古学的調査、文学批評、聖書神学をひとつの「物語」に編み込み、読者を巨大で複雑多様な旧約の世界に引き込む。

A5判・予価8900円

マシュー・ホケノス著／穂田信子訳

アメリカ人教会史家が冷静な筆致で著した最新の評伝。第二次大戦ではUボートの艦長として戦い、牧師に転身した後もなおナチヨナリストで、当初はナチに共鳴したが、やがて批判に転じ、戦時下は強制収容所に囚われ、戦後はエキメニカルな場で活躍した激動の生涯。

四六判・予価3500円

鬼頭葉子著

## 動物という隣人

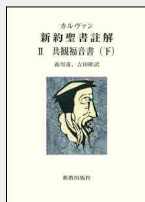
共感と宗教から考える動物倫理

人間と動物の共通点は何か、人間中心主義は克服できるか、哲学と法と宗教を統合的に考える枠組とはどのようなものか。これらの問いに答えながら、共感、憐れみ、宗教、法、権利、関係性等の概念を検討し、多様な動物を配慮できる動物倫理の構築を目指した労作。

A5判・予価5900円

● 11月に出版の本と雑誌

共観福音書 下  
カルヴァン著／森川甫・吉田隆訳  
新約聖書註解Ⅱ



福音書の「調和」を見出そうとしてマタイ・マルコ・ルカの三福音書を対観しながら註解する。改革者の聖書積義の真髓を示す書。上巻から38年を経てついに完結。

◆A5判判・並製・定価6600円  
◆A5判判・上製函入・定価7920円

旧約聖書入門 4  
大野恵正著 現代に語りかける歴史書



この巻は旧約歴史書の二つの系譜を取り上げ、ヨシユア記、士師記、サムエル記上下、列王記上下、歴代誌上下、エズラ記、ネヘミヤ記、ルツ記、エステル記から、民の離反と神の憐れみを読み取っていく。

◆小B6判・定価2090円

## 福音と世界

◆定価660円

12月号 地方・地域から見た日本の現在

寄稿者…中井淳、稲垣聡一、福井稔、岩村義雄、松田舞、日下部遺志／島園進／好評連載 山下壮起、C・J・サンダース&A・ヤーバー、山口陽一、山崎ランサム和彦、田崎英明、村澤真保呂、勝村弘也、有住航

●ゲラを食べる、パソコンのキーボードを殴る、本の頁を破り捨てる。室内を所狭しと動き回る子どもによる被害があまりに甚大なので、もう少し広いところに行つ越そうと考えています。先日も内見に行つたのですが、映画『トレマーズ』シリーズのフィギュアのがチャガチャでした。『トレマーズ』といえば、アメリカの砂漠の村に現れた巨大な地中生物グラボイズが人々を襲撃する、モンスターパニック映画の大傑作。すかさず小銭を投入し、グラボイズとその成長した姿であるアスプラスター（尻から火を吹いて空を飛ぶのが名前の由来）を入手しました。それにしても、『トレマーズ』はもう何回も観ましたが、いつが最初だったのかは思い出せません。おそらく、子どものころにテレビの洋画劇場か何かで観たのでしょう。当時、夜九時からのテレビといえれば映画の時間でした。中には刺激の強い作品もありましたが、怖いながらもおもしろかったですし、これから育つていく子にもぜひそうした映画体験をしてもらいたいと願っています。ところで、入手したフィギュアを眺めていてふと気づきました。立ちほだかるものをすべて食い散らかして突き進むグラボイズ、それによく似た光景を日々目にしているような

気が……。現にこれを書いてる間も、わたしの背後からは何かを噛み千切るうとする音が聞こえてくるのです。（堀）

●私が属する教会（日本基督教団信濃町教会）の一〇〇周年記念誌に原稿を書かねばなりません。たびたび締切りが延長されてもまだ書けません。私の教会は小社と深い関係にあります。前身の長崎書店を創業した長崎次郎は長老として信濃町教会に仕えました。彼は若き日に高倉徳太郎牧師に傾倒して洗礼を受け、その説教集「恩寵と召命」を出すことによつて出版人として歩みを始めた人です。彼を含めて五人の社長のうち四人が信濃町教会の会員です。三代目の秋山憲児、四代目の森岡巖、そして私。私が入社した当時、秋山と森岡は在社しており、その頃小社からさかんに著書や訳書を出していた佐藤敏夫、蓮見和男、森野善右衛門、井上良雄、小川圭治といった先生方も信濃町教会の出身教職や会員でしたので、職場と教会はひとつながりのような雰囲気がありました。先輩たちのキリスト教出版にかける思いと日本における教会形成への熱意もひとつながりでした。いま私の中で職業と教会はどう結びついているのか。先輩たちから無言の問いを投げかけられているという思いも、原稿がなかなか書けない理由です。（小林）

# 福音と世界

2023年  
1

A5判・80頁・定価660円・送料70円  
年間予約購読料（送料共）8760円

特集・当事者が社会を変える

原子力被災者社会から聴こえる声と共に  
片岡輝美

沖繩県平和祈念公園「平和の礎」から響く声  
「命は宝」の教え  
島しづ子

共に歩む社会をめざして  
障かいを生きる  
吉岡卓

ルポ「人」としてつながる  
移民・難民も  
参加するスペインの時間銀行  
工藤律子

マルクスの哲学から見えてくるもの  
田上孝一

全世界の寝そべり主義者よ、團結せよ！  
雨宮処凛

【書評】

近藤勝彦『キリスト教教義学上下』……芦名定道

【好評連載】

フッド・スピリチュアリティ7 ……山下壮起

教会におけるマイクロレクション9 サンダース、ヤバー

「日本的キリスト教」を読む12 ……山口陽一

新約釈義 ルカ福音書13 ……山崎ランサム和彦

間隙を思考する 非同時代性のために22 ……田崎英明

古代イスラエル文学史序説23 ……勝村弘也

霊性のエゴロジーあるいはマリマニア24 村澤眞保呂

福音のフラグメント24 ……有住航